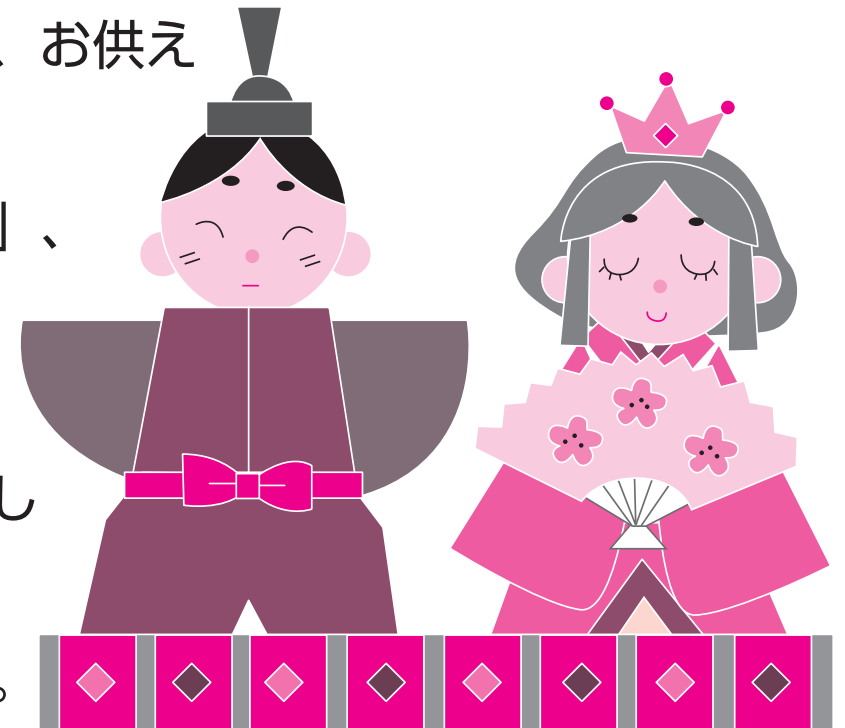


～桃の節句 ひなまつり～

3月3日は桃の節句あるいは上巳(じょうし)の節句ともいわれ、女の子の成長と幸せを祈る行事でもあります。もともとは紙で作った人形を川に流して身を清める「流し雛」という風習と、宮廷の優雅な人形遊びである「雛遊び」が結びついて現在のようになり、子供に災いが来ないようにと祈願し雛人形を飾ります。立春(2月4日)から2月中旬にかけて飾りつけるのが良いとされているそうです。また、お供えする菓子にも意味がありますので、ご紹介します。

- ◆菱餅、雛あられ：赤は「魔除け」、白は「清浄・雪」、緑は「健康・草」をあらわし、自然のエネルギーを授かり、健やかに成長できると言われています。
- ◆白酒：古代中国の桃は邪気を払う仙木とされ、白濁した酒に桃の花びらを浮かべた桃花酒が飲まれ、その名残で今のような白酒が広まったと言われています。



 **ウオクニ株式会社**
<http://uokuni.co.jp>

※当社における食品の安全・安心および健康に関する取り組みについてはホームページをご覧ください。